

# 紫式部の模索

## ～わたしらしく生きる～

世界最古の長編小説「源氏物語」の作者である紫式部。  
漢文や和歌が得意で父親から「お前が男だったなら」と言われた才女でした。  
そんな彼女が女房として宮仕えを始めたきっかけや、なぜ源氏物語を書くことになったのか。自身の著書で清少納言を酷評した理由とは？  
激動の時代に紫式部が女性として自分らしく生きるために模索し、文学を通して示した「価値観」について読み解きます。

令和4年

1月15日(土)

午後2時～4時

【講師】山本 淳子さん

[京都先端科学大学 人文学部歴史文化学科 教授]

平安文学研究者。石川県 金沢市生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。

2007年、『源氏物語の時代 一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版)でサントリー学芸賞受賞。2015年、『平安人の心で「源氏物語」を読む』(朝日新聞出版)で古代歴史文化賞受賞。



- ◆対象 対象 テーマに関心のある方
- ◆定員 定員 30名
- ◆申込 申込 直接または電話・メールで  
男女共同参画センターまで(講座名、〒住所、氏名、電話番号を記入)  
TEL: 072-441-2535 (月曜・祝日を除く9時～17時30分)  
メール: danjoc@city.kishiwada.osaka.jp
- ◆場所 場所 岸和田市立男女共同参画センター (岸和田市加守町4丁目6-18)

◆主催◆ 岸和田市立男女共同参画センター

